

平成23年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

西部総合事務所県民局（電話：0859-31-9709）

1目 観光費<地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「スポーツツーリズム」先進モデル事業	(32,043) 25,525	(13,755) 13,755	(18,288) 11,770			(6,518)	(25,525) 25,525	
トータルコスト	31,915千円（前年度18,596千円）〔正職員：0.8人〕							
主な業務内容	ワンストップサービス拠点づくり業務、サイクリングロード検討業務、連絡調整業務							
工程表の政策目標（指標）	地域資源（ひと・もの・活動）の魅力为国・県内外からの来訪者が享受できるようにする。							

※上段（ ）内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

スポーツツーリズムによるインバウンド推進の可能性を探るため、県西部地域をモデルとして、次の実証実験を行う。

- (1) スポーツツーリズムの旅行商品の企画、販売、実施などを合同会社皆生未来開発に委託
- (2) 近年、来訪目的の高まっているサイクリングと大山登山に係る所要の検討・整備
- (3) 軸となるスポーツ大会の国際化に向けた支援

2 主な事業内容

(1) (新)ワンストップサービス拠点づくり事業 500千円

ア レンタルサイクル実施事業補助金 500千円

クロスバイク等購入費・パンフレット作成費への助成 【助成】合同会社皆生未来開発

\*負担割合：県1/3、米子市1/3、事業者1/3

※ワンストップサービス拠点に配置する中核人材（コーディネーター）については、緊急雇用創出事業を活用する。

(2) 重点スポーツフィールド検討・整備事業 13,495千円

ア (新)サイクリングロード検討事業 650千円

県の検討委員会開催経費、視察経費、専門家による試走評価経費

\*必要なハード整備は、原則、道路を所管する国、県又は市町村が実施する。

イ 大山登山道看板整備事業 12,845千円

県が管理する大山登山道の看板リニューアル（デザインの統一、外国語表記・66基）経費

(3) スポーツ大会支援事業 10,000千円

国際化対応等を積極的に進める代表的なスポーツ大会に対して、必要な経費の一部を補助。

スポーツ大会名	補助対象経費	補助率	金額（千円）
全日本トライアスロン皆生大会	国際的大会としての情報発信	県1/2	7,000
(新)ツール・ド・大山	及び著名人の招へい等に係る経費		1,000
皆生・大山シーツァーサミット	大会運営経費		2,000
計			10,000

(4) 連絡調整費 1,530千円

大山中海圏域の観光宣伝を行う事務的経費

3 これまでの取組状況

- ・日本発祥のトライアスロン皆生大会や皆生・大山シーツァーサミットなどのスポーツ大会の開催を通して、当圏域の魅力を県内外に広く情報発信した。
- ・観光庁が任命するスポーツ観光マイスター第1号に、小原工氏（トライアスロンのシドニー五輪代表）が就任した。（平成22年度）
- ・トライアスロン皆生大会へ観光庁長官を招へいするなどし、本県のスポーツツーリズム推進に向けた取組を国等へPR。H23.3月には本県での観光庁のモニターツアーが実現した。（平成22年度）
- ・関係団体等とともに、サイクリングロード造成に向けた検討を開始した。（平成22年度）